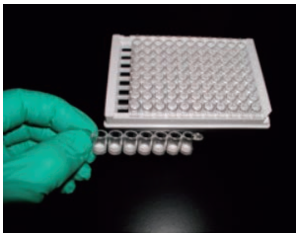
G-LISA Small G-Protein Activation Assay Kit

活性型低分子量Gタンパク質定量キット

細胞内の活性型低分子量Gタンパク質を、従来のプルダウン法よりも少ない試料量で、より簡単に短時間で定量できるキットです。



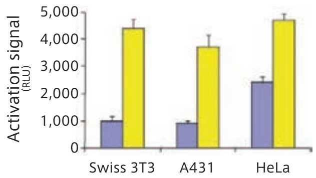
G-LISAプレート（8ウェルストリッププレート）とキット外観

特　長

- 各種の活性型低分子量Gタンパク質を特異的に認識するeffector-proteinの結合領域をあらかじめコーティングした96ウェルプレートを用いています。
- 比色法（測定波長：490 nm）、またはより高感度な化学発光法で定量するタイプの製品があります。

	従来法（プルダウン法）	G-LISAシリーズ
測定時間	10～12時間（2日間）	3時間未満
測定当たりの必要試料量	0.5～2 mg	6.25～50 μg
測定当たりの処理試料数	10試料程度	最大96試料
データの定量性	半定量的	定量的
ハイスループット測定	不可能	可　能

使用例



LPA (lysophosphatidic acid) によるRhoの活性化をG-LISAキット（#BK121）で測定した。Swiss 3T3、A431、HeLa細胞をそれぞれ血清飢餓状態で培養し、LPA処理により刺激した。細胞抽出物をG-LISAアッセイに使用した。LPA刺激により細胞内の活性型Rhoが増加していることが分かる。
紫：LPA未処理、黄：LPA処理

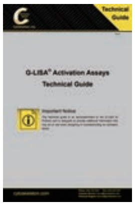
操作方法概略

Webに動画あり

1. 細胞を溶解する。
2. 細胞ライセートをG-protein-GTP-binding plateに添加し、30分間インキュベートする。
3. 検出用抗体を加え、インキュベートする。
4. 検出用試薬（発色／化学発光基質）を加えて測定する。

MEMO

G-LISA Activation Assays テクニカルガイド



G-LISAアッセイの設計またはトラブルシューティングの際に役立つテクニカルガイドです。フナコシWebからもご覧いただけます。

〈掲載内容〉
- 試料調製法
- 実験のコツ
- データ解析
- 参考文献

［メーカー：CYO］

測定因子	品　名	検出方法	アッセイ数	商品コード	包　装	価格（¥）
Cdc42	Cdc42 G-LISA Activation Assay Kit	比色	24 assays	BK127-S	1 kit	170,000
			96 assays	BK127	1 kit	280,000
Rac1	Rac1 G-LISA Activation Assay Kit	化学発光	96 assays	BK126	1 kit	280,000
		比色	24 assays	BK128-S	1 kit	170,000
			96 assays	BK128	1 kit	280,000
Rac1, 2, 3	Rac1, 2, 3 G-LISA Activation Assay Kit	比色	96 assays	BK125	1 kit	280,000
RalA	RalA G-LISA Activation Assay Kit	比色	96 assays	BK129	1 kit	280,000
Ras	Ras G-LISA Activation Assay Kit	比色	96 assays	BK131	1 kit	280,000
RhoA / Rac1 / Cdc42	RhoA / Rac1 / Cdc42 G-LISA Activation Assay **Bundle 3 Kits**	比色	3×24 assays	BK135	3 kits	499,000
RhoA	RhoA G-LISA Activation Assay Kit	化学発光	96 assays	BK121	1 kit	280,000
		比色	24 assays	BK124-S	1 kit	170,000
			96 assays	BK124	1 kit	280,000
Total RhoA	Total RhoA ELISA Kit	比色	96 assays	BK150	1 kit	153,000